

『組紐』体験会のお知らせ

株式会社種田は、3月下旬に、「令和元年度伝福連携担い手育成支援事業」を活用し、市内障害者就労支援事業所の職員及び利用者を対象とした「組紐」の体験会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、やむなく開催を延期しました。

終息が見えてきた段階で、体験会を個別に案内しますので、「組紐」のお仕事に御興味のある市内の障害者就労支援事業所の職員さん及び利用者さんがいらっしゃいましたら、就労支援アドバイザーの株式会社革靴をはいた猫 魚見氏まで、直接、御連絡ください。



◆京くみひも

京くみひもは、丸台などの組台で絹糸を組み上げます。平安時代の宮廷などの装束かざりにはじまり武具甲冑や調度品の紐へと用途を広げ、現在は着物における帯締めは羽織紐のほかインテリアなどにも使われます。

【出典：京都市伝統産業ミュージアム】

[組紐職人さんのお仕事の様子動画](#)【←青文字クリック】

京くみひもは、組み台に糸を設置して組む作業で、組み台は、「丸台」、「角台」、「綾竹台」、「高台」など複数あり、基本的な組み方だけで40種類以上あると言われています。

体験会では、「高麗組（こうらいぐみ）」と呼ばれる平組の組紐をつくる「高台（たかだい）」を使用いただきます。

「組紐」体験会への参加を希望される障害者就労支援事業所は、直接、下記にメールをお送りください。

shoeshine.cat39@gmail.com

担当：株式会社種田 就労支援アドバイザー
(株式会社 革靴をはいた猫 魚見)

■日時 個別に調整させていただきます。

※ 土曜日の実施を予定。

■会場 元待賢小学校 3階 ※ 地図参照

所在地：京都市上京区猪熊通丸太町下る藁屋町536-1

【主催 株式会社 種田】

****市内の障害者就労支援事業所の皆様へ****

はじめまして。株式会社革靴をはいた猫の魚見と申します。



令和元年度に、株式会社種田が京都市の「伝福連携担い手育成支援事業」を採択され、就労支援アドバイザーとして携わり、新たに職人として活躍する場を模索しようと『組紐』に取り組んで参りました。

当社では、障害のある方が「職人」として活躍する社会を目指し、靴磨きや靴修理を行なっています。

B型事業所等に所属していた3名の障害のある若者が職人として活躍しています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、一堂に会して開催するのではなく4月以降に興味をもっていただいた障害者就労支援事業所の方と、個別に日程等を調整させていただきます。

関心のある方はぜひ、御連絡ください。

